

いよいよ工事が決まりました

令和7年第2回定例会を6月16日から17日までの2日間の会期で開きました。

一般質問には4人の議員がハラスメント対策、復興事業の実績と展望、県道拡幅、契約業務などについて、町の考えをいただきました。

町提出議案は9件で、条例の制定及び一部改正、工事請負契約の締結、令和7年度6月補正予算などを審議し、全て原案のとおり可決しました。

また、福島県教職員組合より提出された陳情の趣旨に賛同し、関係省庁の大臣に意見書を提出する発議案が提出され、全会一致で可決しました。



一般質問の様子

国保税等減免

福島第一原子力発電所事故による被災者に対する国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の一部負担金及び保険税(料)について、令和7年度における国の財政支援による減免措置を講じるための条例が制定されました。

住所を有していた区域	一部負担金	保険税(料)
帰還困難区域等令和6年度までに避難指示等が解除されていない区域	全額	全額
令和6年度中に避難指示等が解除された区域	全額※1	全額※1
令和5年度までに避難指示等が解除された区域	全額※2	全額※2
平成28年中に指定が解除された避難指示解除準備区域及び居住制限区域	全額※2	10分の5※2
平成27年中に指定が解除された避難指示解除準備区域	全額※2	減免なし
旧緊急時避難準備区域及び平成26年12月31日までに指定が解除された避難指示解除準備区域(広野町)	免除なし	減免なし
特定避難勧奨地点	免除なし	減免なし

※1 上位所得層は令和7年9月分まで
 ※2 上位所得層を除く

広野町は令和7年4月1日以降、一部負担金も免除終了

関係省庁に意見書を提出

「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

福島県教職員組合より提出された陳情の趣旨に賛同し、関係省庁の大臣に意見書を提出することとなりました。

(意見書提出先)

- 復興大臣 伊藤 忠彦 殿
- 文部科学大臣 阿部 俊子 殿
- 総務大臣 村上 誠一郎 殿
- 財務大臣 加藤 勝信 殿

(意見の内容)

東日本震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、令和8年度においても、全額国庫で支援する「被災児童生徒就学支援等事業(就園支援、学校用品等援助、通学支援、奨学金支援、就学奨励、授業料免除など)」の継続と、十分な就学支援に必要な予算確保を行うこと。

旧広野駅舎改修

工事請負契約の締結を可決

旧広野駅舎を改修し、平時は地域交流施設として活用するとともに、有事の際は災害情報や避難経路情報を発信できる避難場所として整備します。

工事名称 旧広野駅舎交流施設改修工事
 工事場所 下浅見川字柳町地内
 工期 着工 令和7年6月18日
 完成 令和8年3月31日
 請負代金 2億4090万円
 受注者 仙建工業株式会社福島支店



旧広野駅舎

質疑 内側の工事も含まれるか?

西本 久雄 議員

今回の工事は、ベンチなどの交流施設、待合所として内側を改修する予定は含まれていますか。

加賀 復興企画課長

交流施設の中にはベンチ等を置き、なるべく多くの方が中で交流できるように内側も改修する内容となっています。

質疑 入札時の状況は?

高木 光雄 議員

4社のうち3社が辞退しています。が、入札前に辞退届の提出があったのか、また、結果的に随意契約になったと思います。が、落札率を伺います。

加賀 復興企画課長

入札日前に辞退届をいただいております。広野町では、入札当日に1社の場合は入札を行わないことになっており、その運用に則っています。落札率は98.2%です。

質疑 交流施設と云えるか?

渡邊 忠義 議員

交流施設の大きさが小さく見えませんが、これが本当に交流施設と言えますか。

加賀 復興企画課長

現状の駅舎の中を改修するため30坪程度になります。一般的に駅は待合所という考え方もありますが、有事の際には災害情報や避難経路情報を発信できる避難場所、平時は地域交流施設で活用できるということで、交流施設という名称を使い補助金の申請をしています。



交流施設の完成イメージ